

---

# 此の歌を貴方に...

有沢 美弥

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

此の歌を貴方に…

### 【Nコード】

N7214E

### 【作者名】

有沢 美弥

### 【あらすじ】

ポエムの短編集です。いろいろ掲載しています。よかったらどうぞ。

（愛の詩）

ここは風の塔

私は愛すべき人のため

詠った。

ゆっくりと瞳を閉じる。

初夏の風を感じ、空を仰ぐ。

自然と笑みが溢れる。

頭の中に同じ曲がA I I R E P E A T  
唇がそれを奏でる。

大丈夫だよ

あなたならきつと

どんなに苦しい道も…

どんなに険しい壁も…

どんなに辛い過去も…

どんなに悲しい未来も…

きっと大丈夫。

だって私があなただを信じているから。

あなたが幸せなら、私も幸せだから。

そう、だから……

あなたが私以外の人を選んでも、それがあなたの幸せなら構わない。

この世界が滅びるまで私はあなたを愛し続ける。

だって、もうあなた以外を愛することなんてないんだから。

だから……

泣かないで

く瞳く

とても綺麗な…

とても澄んだ瞳で

貴方は私を見つめる。

その瞳に吸い込まれそうで…

私は瞳を伏せる。

すると、貴方は笑うの。

困ったような苦笑い。

そしてこう言うの。

「大丈夫だよ」って。

く未来へく

小鳥が飛び立ったベランダの窓から

朝の空気を一杯に吸い込む

爽やかな風が髪を撫でて通り過ぎた

飛び立って行った小鳥が囁く

それをBGMにして…

朝日を背にして私は歩き始める

これからの未来へ

〈道〉

ふと顔を上げれば

果てしない道が続いていた。

周りは殺風景。

見渡す限り、何も無い。

声が聞こえた。

歩き出さない、と。

ゆっくり足を踏み出す。

柔らかい土の感触。

正面には友達。

彼女は笑って言った。

もう一人なんかじゃないよ。

(後書き)

どうでしたか？

このポエムは全く持って繋がっていません。  
ご注意を。

感想など頂けたら泣きます。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7214e/>

---

此の歌を貴方に...

2010年10月9日14時34分発行